


# (一社) 大阪精神保健福祉士協会 2020年度夏期合同研修 プログラム

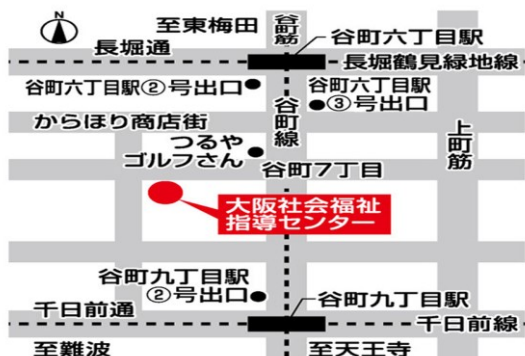
全体テーマ 『 協働～ collaboration ～ 』

第1日目		
9:30	受付開始	
9月5日 (土)	10:00～	開会挨拶・オリエンテーション
	10:10～ 15:00 (昼休憩 含む)	<p>(公社) 日本精神保健福祉士協会大阪支部合同企画 第二弾 災害対策『やってみよう！災害時のメンタルヘルス実践研修』(仮) *</p> <p>*ただいま新型コロナウイルス感染防止を考慮した形での研修の内容を検討しております。詳細は7月上旬に協会HPにて、改めてお知らせいたします。</p> <p>【講師】 社会医療法人北斗会ほくとクリニック 精神科医 緑川大介先生</p> <p>災害はいつどこで起こるかわかりません。発災時、私たちがお互いに支え合うためには、普段から学び、連携しておくことが大切です。昨年の研修でも、わかりやすく、もっとお話が聴きたいというお声をたくさんいただいた緑川大介氏に、今年も引き続いて、ご講義を賜ります。災害についての基本的な知識はもちろん、今年はいよいよ実践的な部分まで、私たち精神保健福祉士がどのような支援ができるか、ぜひ一緒に学びましょう。</p> <p>【講師紹介】</p> <p>プロフィール：社会医療法人北斗会ほくとクリニック病院 精神科医、DPAT（災害派遣精神医療チーム）インストラクター。 東日本大震災発災直後より、福島県いわき市に災害派遣、現地リーダーとして他府県の心のケアチームを統率。ほくとクリニック病院にて精神科救急現場で臨床に従事する傍ら、DPAT事務局に所属し、国の災害精神医療体制の整備やDPAT隊員育成に従事。北関東豪雨災害、熊本地震、大阪北部地震、北海道胆振東部地震時に災害対策本部に災害派遣。</p> <p>※講義の最後に質疑応答の時間を設けます。 ※休憩は適宜設けます。</p>
		共有・連絡事項



## 第2日目

12:30	受付開始
13:00	挨拶・オリエンテーション
9月6日 (日) 	<b>実践報告会</b> (形式等内容は変更になる可能性があります。ご了解ください)  <b>「今、ソーシャルワーカーの連帯・連結・協働を考える」 (仮)</b>  報告① 「Homedoorの実践と新型コロナ・住まいと暮らし緊急サポートプロジェクトOSAKA」 認定NPO法人 Homedoor (ホームドア) 精神保健福祉士 笠井亜美氏  (ご紹介) Homedoor (2014年4月～) は、「ホームレス状態を生み出さない日本の社会構造をつくる」をビジョンに、生活困窮者への就労支援、生活支援、ホームレス化予防事業ホームレス問題に関する啓蒙活動を行う団体です (HPより)。今回、「新型コロナ・住まいと暮らし緊急サポートプロジェクトOSAKA」においても、4月23日より募金活動、宿泊支援や緊急生活相談を生活困窮に関する組織の合同で支援を行っています。生活困窮者の今の支援とプロジェクトについてお話していただきます。  報告② 「大阪市における総合的な相談支援体制の充実事業における当協会のスーパーバイザー派遣について」  (仮) (株)クオーレ / (一社) 大阪精神保健福祉士協会副会長 (組織事業部統括) 島田泰輔氏  (ご紹介) 「大阪市における総合的な相談支援体制の充実事業」とは、既存のしくみでは解決できない複合的な課題を抱えた人や世帯に対し、区保健福祉センターが中心となり、関係者が一堂に会して支援方針を話し合う「総合的な支援調整の場 (つながる場)」を開催、個別SV相談を実施するなど、『相談支援機関・地域・行政が一体となった総合的な相談支援体制』の充実に向けた取り組みです (総会資料抜粋)。当協会からのスーパーバイザー派遣についてお話していただきます。
	ミニシンポジウム (予定) コーディネーター等調整中 ●リフレクションの時間→全体共有
16時30分頃	閉会挨拶・終了



←大阪府社会福祉指導センター多目的ホール  
大阪府中央区中寺1丁目1-54

